

2013年日本公演

英国ロイヤル・バレエ団 〈ロイヤル・ガラ〉

A GALA EVENING
WITH THE ROYAL BALLET



ROYAL BALLET



今をときめくロイヤルのスターと
バレエ団総出演で贈る、一夜限りの華やかな饗宴!

7/10(水) 6:30 p.m. 会場：東京文化会館 演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

入場料 (税込) S=¥22,000 A=¥20,000 B=¥18,000
C=¥13,000 D=¥10,000 E=¥7,000

NBSチケットセンター(電話)だけで申込みいただけるお得なチケット

◆ペア割引券[S, A, B席] 2枚で1,000円お得!

※NBSチケットセンター(電話)のみで発売。

◆エコノミー券 ¥5,000 ※イープラスのみで6/21(金)より発売。お一人様2枚まで。

◆学生券 ¥3,000 ※NBS WEBチケットのみで6/21(金)より発売。25歳までの学生が対象。公演当日、学生証必携
※10人以上のグループでご購入の場合、割引があります。詳しくはNBSまでお問い合わせください。

2013年6月1日(土) 10:00a.m.より一斉発売開始!

- 前売所
- e+(イープラス) <http://eplus.jp/> (PC&携帯) ※プレオーダー5月23日(木)~5月29日(水)
 - チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 426-131)
<http://pia.jp/t/> (PC&携帯) ※プレリザーブ5月23日(木)~5月29日(水)
 - CNプレイガイド 0570-08-9990
 - 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
 - ローソンチケット 0570-000-407 (10時~20時) (Lコード: 34017)

NBS
WEBチケット
サービス

先行抽選予約(S~B) 5/15(水)~5/23(木)
NBSホームページ <http://www.nbs.or.jp/>
NBSモバイル <http://www.nbs.or.jp/i/>

※NBSチケットセンターとは別の会員登録となります。
※ご利用いただく際には、事前に会員登録(登録料・年会費は無料)が必要となります。

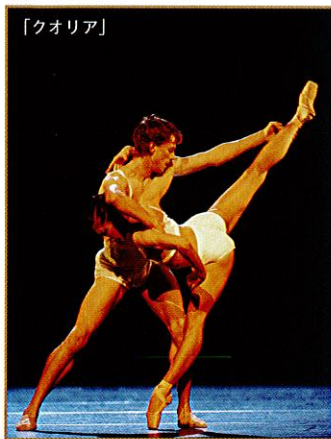


チケットご購入の前に必ずお読みください。 ※このチラシ記載の演目および出演者は2013年4月24日現在の予定です。カンパニーの都合等で変更になる場合がありますので、ご了承の上、チケットをお求めください。変更にとまなうチケットの払い戻し、公演日・券種の振替はいたしません。また配役に関しては当日発表とさせていただきます。 ※未就学児童のご入場はお断りします。

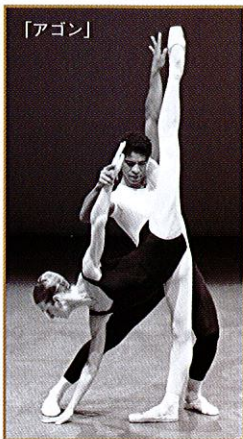
お問
合わせ
お申
し込
み

NBS チケットセンター (平日 10:00 ~ 18:00) NBSの <http://www.nbs.or.jp/> For information in English, see: <http://www.nbs.or.jp/english/>
TEL 03-3791-8888 (土曜 10:00 ~ 13:00) ホームページ
主催: NBS 公益財団法人日本舞台芸術振興会 / 日本経済新聞社 後援: ブリティッシュカウンシル

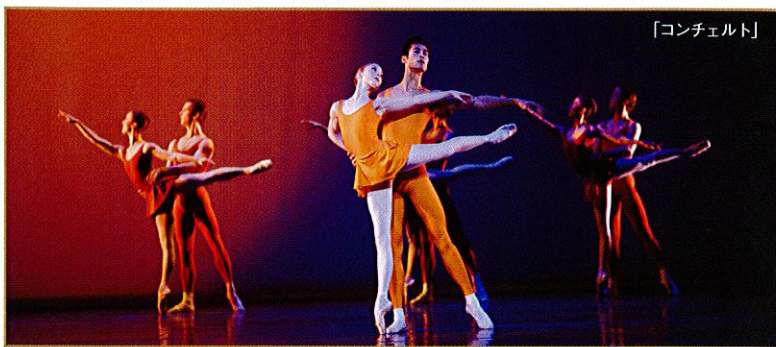
華やかなプリンシパル陣と充実のレパートリー。 英国ロイヤル・バレエ団のすべてが堪能できる、ゴージャスな一夜!



「クオリア」



「アゴン」



「コンチェルト」



「シンフォニー・イン・C」



「春の声」



「シンフォニー・イン・C」

掲載した写真と当日の配役は関係ありません。

Stage photos: Bill Cooper, Johan Persson, Tristram Kidson, Arndt Lapsensky/ROH

気品ある“ロイヤル・スタイル”と演劇的なバレエの伝統をもち、いま充実のプリンシパルの陣容を誇ってこの夏来日する英国ロイヤル・バレエ団が、一夜限りの豪華なガラを上演します!

予定されているのは、まず英国ロイヤル・バレエ団の根幹をなしている演目—「眠れる森の美女」や「白鳥の湖」などクラシックの抜粋と、“ロイヤル・スタイル”の創始者フレデリック・アシュトン、ドラマティックな作風のケネス・マクミランという英国の二大振付家の作品。20世紀の古典ともいえるバランシン作品。そして、「不思議の国

のアリス」でヒットを飛ばすクリストファー・ウィールドン、尖鋭な作風のウェイン・マクレガー、その才能と可能性を英国でもっとも期待されている新鋭リアム・スカールレットなど最先端の作品まで。英国バレエの豊かな伝統と新たな潮流を示す多彩なレパートリーを、バレエ団総出演でお贈りします。

英国ロイヤル・バレエ団の輝けるいまを余すところなく披露する、文字通りのゴージャスな“ロイヤル・ガラ”を、心ゆくまで堪能ください。

上演演目一覧	
「ラ・ヴァルス」	振付：フレデリック・アシュトン 音楽：モーリス・ラヴェル
「温室にて」	振付：アラステア・マリOTT 音楽：リチャルト・ワーグナー
「コンチェルト」	振付：ケネス・マクミラン 音楽：ドミートリイ・ショスタコヴィチ
「うたかたの恋」	振付：ケネス・マクミラン 音楽：フランツ・リスト
「宝石のバド・ドゥ」	振付：リアム・スカールレット 音楽：アレクサンドル・グラズノフ
「雨の後に」	振付：クリストファー・ウィールドン 音楽：アルヴォ・ペール

「ドン・キホーテ」 第3幕よりバド・ドゥ	振付：マリウス・フティバ 音楽：ルートヴィク・ミンクス
「白鳥の湖」 バド・カトル	振付：フレデリック・アシュトン 音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
「アゴン」 バド・ドゥ	振付：ジョージ・バランシン 音楽：イーゴリ・ストラヴィンスキー
「クオリア」	振付：ウェイン・マクレガー 音楽：スキヤナー
「眠れる森の美女」 目覚めのバド・ドゥ	振付：フレデリック・アシュトン 音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
「春の声」	振付：フレデリック・アシュトン 音楽：ヨハン・シュトラウス二世
「シンフォニー・イン・C」 最終楽章	振付：ジョージ・バランシン 音楽：ジョルジュ・ビゼー

※配役につきましては英国ロイヤル・バレエ団側で調整中のため、発表は公演が近づいてからとなります。また、正式な配役は公演当日とさせていただきます。なにとぞご了承ください。

来日予定のプリンシパル



カルロス・アコスタ | リヤン・ベンジャミン | フェデリコ・ボネッリ | アリーナ・コジョカル | ローレン・カスバートソン | ニーアマイア・キッシュ | ヨハン・コボー | サラ・ラム | スティーヴン・マックレー | ロベルタ・マルケス | ラウラ・モレーラ | マリアネラ・ヌニェス | ルバート・ベネファサー | ティアゴ・ソアレス | エドワード・ワトソン | セナイダ・ヤノウスキー

※表記の演目及び出演者は4月24日現在の予定です。出演団体の都合やダンサーの怪我等の理由により、変更になる場合があります。変更によるチケットの払い戻しはいたしませんのでご了承ください。

